

東京エレクトロングループ CSR目標

東京エレクトロングループではCSR活動の進捗を図るため、各部門において重点的に取り組むべき課題を挙げ、年度ごとの具体的な活動テーマと目標を設定しています。またそれぞれの活動は、当社のマテリアリティ(重要課題、P6)と連動してます。

目指す姿/マテリアリティ	2014年度		2015年度	
	テーマ	活動目標と実績	テーマ	活動目標
CSR 高品質経営と ステークホルダー コミュニケーション マテリアリティ(重要課題): ガバナンス/ 倫理・コンプライアンス ステークホルダー コミュニケーション 社会貢献活動	高品質経営	【目標】 CSR推進のマネジメント 【実績】 継続 CSR推進会議の定期開催(年2回)、CSR推進部門の実務担当者による「CSR月次連絡会」を新設(月1回) 【目標】 EICC®の展開 【実績】 継続 EICC®関連セミナーを社内で行った(年2回、計120名が参加)	高品質経営	CSR経営 ・マネジメントシステムの活用・継続(CSR推進会議、CSR月次連絡会) ・経営会議での定期活動報告 EICC® EICC®のグローバル推進体制構築と教育活動の実施
	コミュニケーション	【目標】 ステークホルダーエンゲージメント 【実績】 継続 社会貢献活動の報告範囲拡充、社会貢献活動を実施	コミュニケーション ステークホルダーエンゲージメント ・ステークホルダーエンゲージメントの全社方針と実行計画を設定する 情報開示 主要な社会貢献活動の発信範囲の拡充	
	社会貢献活動		社会貢献 社会貢献活動 ・社会貢献活動の全社方針と実行の基準を設定する ・社員ボランティアプログラムの拡充	
倫理 倫理意識の向上、 問題事案への 的確な対応、 環境の変化に 応じた施策の展開 マテリアリティ(重要課題): ガバナンス/ 倫理・コンプライアンス 情報セキュリティ	倫理・コンプライア ンス教育 【目標】 倫理・コンプライアンス教育(確認テスト)を国内外で実施 【実績】 達成 実施済み(今後も継続) 対象者数:国内外グループ会社役員・社員約9,200名(国内:約7,100名、海外:約2,100名)	倫理・コンプライ アンス マネジ メント マネジメント体制 の整備、強化	・現行マネジメント体制のレビュー ・レビュー結果に基づく改善計画の立案	
	パワーハラスメント のない職場環境づくり 【目標】 基本知識の習得および事例を通じた理解の浸透 【実績】 達成 国内グループ会社の役員・全社員を対象としたウェブ教育を実施済み 対象者数:国内グループ会社役員・社員約7,400名	倫理基準 社会の変化に即した倫理基準	・EICC®行動規範との整合性確認 ・倫理基準の見直し	
人事 働きやすい 職場づくりと 社員のキャリア 構築の支援 マテリアリティ(重要課題): EHSマネジメント 多様な人材の活躍 活力ある職場の実現	人材の多様化 【目標】 外国籍社員新卒採用 事業のグローバル化に伴う人材の多様化 【実績】 継続 外国籍社員の採用比率 11.1%(2014年4月入社) 【目標】 グローバル展開における異なる価値観の理解・尊重 【実績】 達成 異文化理解のための研修実施	人材の多様化 ダイバーシティマ ネジ メントの取組み および異なる価値観 の理解・尊重	多様な人材を活かし、個人の持つ能力を最大限に発揮させる組織づくり(多様化に向けた従業員の意識改革推進) グローバル展開における異なる価値観の理解・尊重(社内の人材交流およびコミュニケーションの活性化推進)	
	労働安全衛生 【目標】 健康管理 配慮が必要な社員の把握と適切な対応 【実績】 継続 部門長への「健康配慮が必要な社員」の情報提供を開始			女性が活躍できる環境の整備(現状の把握、課題分析に基づく行動計画の策定)
	ワーク・ライフ・ バランス 【目標】 職場と家庭の両立支援 【実績】 達成 介護支援制度レビュー実施 継続 育児短時間勤務制度利用者数モニタリング実施	ワーク・ライフ・ バランス 職場と家庭の両立 支援	各種制度利用促進に向けた従業員の意識・働き方の改革推進	
安全 すべての人々が 安全と健康を 最優先する 風土の醸成 マテリアリティ(重要課題): 製品品質 EHSマネジメント 製品ライフサイクル マネジメント	製品安全 【目標】 装置設計の各地域安全法規へのタイムリーな対応 【実績】 達成 ・海外工場の装置出荷安全基準を統一(TS®準拠) ・KC-Mark*2ならびに韓国産業安全保健法への対応 <small>*1 TS: TEL Standardの略 *2 KC-Mark: Korea Certification Markの略、韓国の国家統合せ証</small>	製品安全 各地域安全法規へ のタイムリーな対応	・顧客RFQ*による装置安全適合要求への適切な対応 ・プロダクトセーフティエンジニアの育成 ・新規開発装置の安全適合サポート <small>*RFQ: Request For Quotation(見積もり依頼)の略</small>	
	事故防止 【目標】 事故未然防止。事故発生の場合、発生原因の追究と再発防止、対策の水平展開と類似事故防止 【実績】 達成 ・安全巡視、新規Fab安全確認、事故再発防止対策の水平展開 ・前年度比TCIR*事故28%減、重度の人身傷害になりうる事故38%減 <small>*TCIR: Total Case Incident Rateの略。労働時間20万時間あたりの人身事故(OSHA(Occupational Safety and Health Administration)基準)の発生率。</small>	事故防止 事故未然防止。 事故発生の場合、発 生原因の追究と再発 防止、対策の水平展 開と類似事故防止	・前年と比較してTCIR事故38%減、重度の人身傷害になりうる事故50%減 ・安全巡視、新規Fab安全確認、事故再発防止対策の水平展開継続	
	安全教育 【目標】 実技的教育も含めた安全スキルのボトムアップ 【実績】 達成 ・上級安全更新教育(8,900名受講) ・作業事故防止意識向上ウェブ教育(のべ15,000名受講) ・交通安全各種ウェブ教育(国内のべ1,100名受講)	安全教育 実技的教育も含めた 安全スキルのボトム アップ	基礎・上級安全更新教育:対象者100%受講 作業事故防止意識向上ウェブ教育:前年度以上の受講者数を旨指す	
	安全マネジメント 【目標】 方針の明確化、活動維持のための組織体制の定着 【実績】 達成 ・グローバル安全会議(今期3回) ・各事業所における安全衛生委員会ならびに各BU会議での安全活動推進の展開と活性化	安全マネジメント 方針の明確化、活動 維持のための組織 体制の定着	・グローバルEHS会議組織と各社安全会議でのPDCA ・各国、各地域の安全活動状況の確認と是正	

東京エレクトロングループ CSR目標

目指す姿/マテリアリティ	2014年度		2015年度	
	テーマ	活動目標と実績	テーマ	活動目標
信頼されるサプライチェーンマネジメント体制の構築 マテリアリティ(重要課題): 製品品質 サプライチェーンマネジメント 製品ライフサイクルマネジメント 紛争鉱物	CSR活動のサプライチェーンへの展開	【目標】 第2回サプライヤーCSR調査の実施と改善(平均評点の向上) 【実績】 達成 調達額の80%以上を占める取引先に対しEICC*要求事項に準拠した調査を実施し、改善状況を把握(25%のサプライヤーで改善を確認)	CSR活動のサプライチェーンへの展開	調達額の80%以上を占める取引先に対し第3回サプライヤーCSR調査実施
	紛争鉱物	【目標】 初回紛争鉱物調査の実施 【実績】 達成 調達額の80%以上を占める取引先に対し初めてCFSI*1策定書式による紛争鉱物調査を実施し、CFSP*2認定製錬所数(117社)などを確認 <small>*1 CFSI: Conflict-Free Sourcing Initiative(紛争鉱物問題)に取り組み組織の略 *2 CFSP: Conflict-Free Smelter Program(紛争鉱物不使用製錬企業プログラム)の略</small>	紛争鉱物	第2回紛争鉱物調査実施 データ精度の向上
	BCP	【目標】 第4回調達BCP調査の実施と改善(平均評点の向上)確認 【実績】 達成 調達額の80%以上を占める取引先に対し調査を実施し、改善状況を把握(41%のサプライヤーで改善を確認)低評価サプライヤーに対して改善活動実施	BCP	調達額の80%以上を占める取引先に対し第5回調達BCP調査実施
グローバルな品質改善活動の展開 マテリアリティ(重要課題): 製品品質 製品ライフサイクルマネジメント	品質向上	【目標】 物損事故削減 【実績】 達成 物損事故 前期比7.7%削減	品質向上	物損事故削減 削減計画立案のもと、全社で製品起因の物損事故を前期比20%削減
	品質マネジメント	【目標】 品質文書の整備と定期レビューの見直し 【実績】 継続 1.関連する主管部門と連携し、全社で共通する品質文書の整備の継続的実施 2.定期レビューの強化	お客さま満足度向上	装置トレーニングの品質向上 受講者アンケート: 目標:平均4点以上(5点満点) お客さまとサービスエンジニアに装置の安全・安定稼働に必要な知識と操作・メンテナンス方法をトレーニングカリキュラムとして提供し、お客さま満足度向上・サービス品質向上に寄与
			お客さま満足度向上	顧客満足度調査: 目標:すべての項目で3点以上を獲得(4点満点中) 調査、分析、アクション、レビューの活動を継続的にを行い、品質とサービスの向上に努め、お客さまへより一層高い価値を提供
			コンプライアンス	グループ全社で共通する規程・マニュアル類の遵守状況の点検(PCDA)
最先端の技術とサービスによる環境問題の解決 マテリアリティ(重要課題): 製品品質 サプライチェーンマネジメント EHSマネジメント 製品の環境貢献 製品ライフサイクルマネジメント 省エネルギーの推進 水使用量の削減 廃棄物削減・リサイクル 生物多様性の保全	製品貢献	【目標】 製品の環境負荷低減(新規目標の設定) 【実績】 達成 エネルギー(SEMI S23ベース)10%削減目標の設定(2013年度基準、目標2018年度) 純水10%削減目標の設定(2013年度基準、目標2018年度)	製品貢献	製品の環境負荷低減 現状把握、達成に向けたロードマップの作成
		【目標】 製品の中国RoHS*適合 【実績】 達成 製品の中国RoHS適合に関し、海外生産拠点へ活動を展開 <small>*RoHS: Restriction of Hazardous Substances(危険物質に関する制限)の略</small>	製品の中国RoHS適合	グローバル展開
		【目標】 自主的欧州RoHS対応推進 【実績】 達成 各ビジネスユニット代表機種で欧州RoHS適合部品率98.5%以上を継続	自主的欧州RoHS対応推進	各ビジネスユニット代表機種適合部品98.5%以上を継続
		【目標】 各国製品環境コンプライアンス 【実績】 達成 欧州REACH、各国GHS、電池規制、エネルギー高効率化規制、欧州フロンガス規制に継続的に対応、また海外での体制を強化	各国製品環境コンプライアンス	欧州REACH、各国GHS、電池規制、エネルギー高効率化規制、欧州フロンガス規制に継続的に対応、また海外での体制を強化 サプライチェーンマネジメントの強化
	事業所	【目標】 省エネルギー化の推進(前年度比1%削減) 【実績】 達成 目標を設定した国内・海外12事業所のうち11事業所で目標を達成	事業所	省エネルギー化の推進 エネルギー使用量 前年度比1%削減活動を継続
		【目標】 水使用量の削減(2011年度レベルを維持) 【実績】 達成 国内・海外で設定した15目標のうち10目標で達成		水使用量の削減 国内:2011年度レベルを維持 海外:基準年度レベルを維持 活動を継続
		【目標】 廃棄物リサイクル(国内リサイクル率97%以上を維持) 【実績】 達成 国内リサイクル率は98.9%で目標達成。海外地区合計は88.2%と高いリサイクル率		廃棄物リサイクル 国内:リサイクル率97%以上 海外:前年度以上のリサイクル率
	調達/物流	【目標】 グリーン調達 【実績】 達成 調達額の80%以上を占める取引先に対し、第2回年次調査を実施し、改善状況を把握。アンケート回答率100%、46%のサプライヤーで改善を確認	調達/物流	グリーン調達 活動を継続 調査結果の分析から活動を計画、第3回グリーン調達アンケートを実施、低評価サプライヤーの評価向上
		【目標】 物流における環境負荷低減 【実績】 継続 活動を継続		物流における環境負荷低減 活動を継続
	環境マネジメント	【目標】 環境マネジメントシステム 【実績】 達成 グループ会社の製造系事業所でのISO14001認証を継続	環境マネジメント	環境マネジメントシステム 2015年度改訂版への対応
	【目標】 環境教育 【実績】 達成 環境適合設計要領の教育を実務管理職向けに実施		環境教育 環境適合設計要領のウェブ教育実施	
	【目標】 環境適合設計 【実績】 達成 環境適合設計に関するガイドラインを策定		環境適合設計 教育の設計・調達部門への展開	
	【目標】 環境コミュニケーション 【実績】 達成 環境・社会報告書を継続的に発行		環境コミュニケーション 環境・社会報告書を継続的に発行	
	【目標】 生物多様性の保全 【実績】 達成 ガイドラインに基づき、各地区にて観察会を開催・参加		生物多様性の保全 ガイドラインに基づき、国内各事業所で生態観察会を複数回実施 シンポジウムの開催 主要地区の保全活動対象リストを作成	